

局地的な浸水対策について

局地的な浸水対策

雨水の集水不良などが浸水の要因となっている地区

下水管の能力不足などが浸水の要因となっている地区

ピンポイントで行う対策を実施
(緊急的・応急的に順次実施)

周辺を含むやや規模の大きな対策を実施
(実施計画策定の上で実施)

状況に応じて
組み合わせた対策を実施

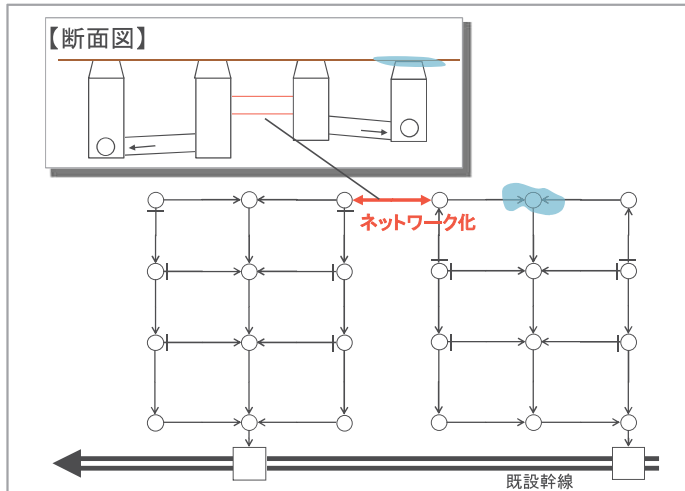
【対策内容】

- 集水ますの設置・改良
- 横断側溝・縦断側溝の設置 など

【対策内容】

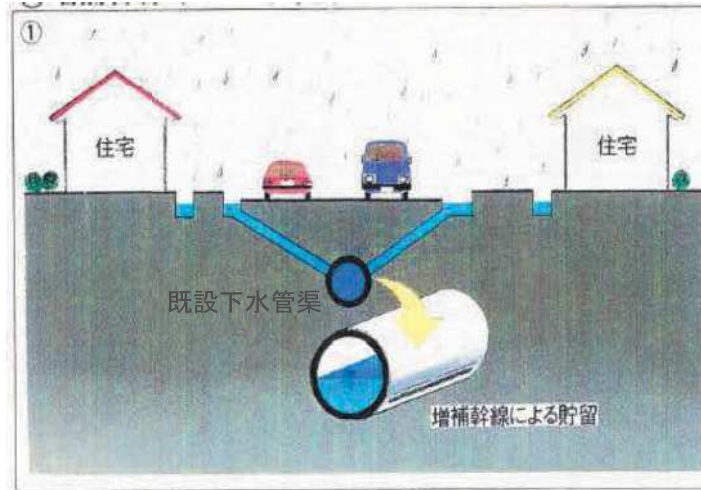
- 枝線管渠のネットワーク化
- 貯留施設の整備
- 局所排水用マンホールポンプの設置 など

枝線管渠のネットワーク化



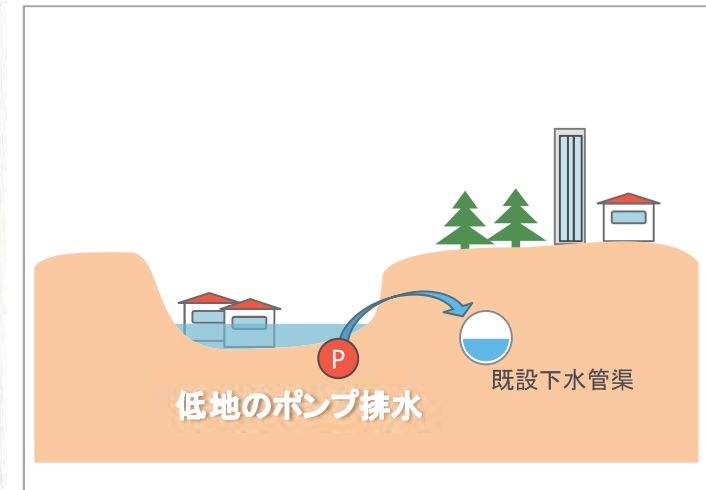
枝線管渠のネットワーク化を行うことで、周辺地域を含む下水管渠の有効活用を図ると共に、全体のレベルアップを図る。

貯留施設の整備



浸水地域に接する区域の増補幹線を先行して整備し、既設下水管渠の能力不足分について貯留を行うことで、浸水緩和を図る。

局所排水用マンホールポンプの設置



くぼ地などの低地区に排水ポンプを設置し、下流側で余裕のある既設下水管渠などに排水することで、浸水緩和を図る。